

第38回 JSCRS学術総会

2023年6月22日(木)～24日(土) 札幌コンベンションセンター

会長企画4	会長企画4 PLUS ULTRA ー他分野からのメッセージー 座長：柴 琢也(六本木 柴眼科) 神谷和孝(北里大・医療衛生) 根岸一乃(慶應大) 妹尾 正(獨協医大) 後関利明(国際医療福祉大・熱海) 井上 真(杏林アイセンター)	128	教育セミナー8	教育セミナー8 後囊破損に対する対処方法 座長：大内雅之(大内雅之アイクリニック) 柴 琢也(六本木 柴眼科) 石井 清(さいたま赤十字病院) 三戸岡克哉(北戸田駅前みとおか眼科) 大内雅之(大内雅之アイクリニック) 森山 涼(森山眼科クリニック) 松島博之(獨協医大)	66
	CP4-1 眼光学学会のトピックス CP4-2 角膜疾患の外科的治療トピックス CP4-3 弱視斜視学会のトピックス CP4-4 眼内レンズ挿入眼の眼底視認性			PR8-1 破囊を来すミステイクと注意点 PR8-2 破囊処理の理論 PR8-3 残存硝子体の処理 PR8-4 破囊処理時の指導法 PR8-5 大きく破囊した場合の対処法	
シンポジウム2	シンポジウム2 白内障手術とテクノロジー ～ローテック、ハイテックからニューテクノロジーまで～ オーガナイザー：西村栄一(昭和太・藤が丘) 小早川信一郎(日本医大・武蔵小杉) 太田俊彦(順天堂大・静岡) 柴 琢也(六本木 柴眼科) 徳田芳浩(井上眼科病院)	8	教育セミナー2	教育セミナー2 満足度の高い多焦点眼内レンズ手術のポイント 座長：根岸一乃(慶應大) 佐々木洋(金沢医大) 林 研(林眼科病院) 荒井宏幸(みなとみらいアイクリニック) 柴 琢也(六本木 柴眼科) 水戸 毅(金沢医大)	12
	S2-1 IOL強膜内固定術の新しい試み S2-2 デジタル白内障手術 S2-3 IOL以外にも囊内固定できます			PR2-1 多焦点の患者選択 PR2-2 眼内レンズ選択 PR2-3 手術 PR2-4 術後管理	
インストラクションコース7	インストラクションコース7 初級～上級 世界の最新トレンドを知ろう！ オーガナイザー：宮田和典(宮田眼科病院) 神谷和孝(北里大・医療衛生) 講師：柴 琢也(六本木 柴眼科) 鈴木久晴(善行すすき眼科) 平岡孝浩(筑波大) 森 洋斉(宮田眼科病院)	75	Best of JSCRS	Best of JSCRS オーガナイザー：松島博之(獨協医大) 宮田和典(宮田眼科病院) 徳田芳浩(宮田眼科病院) モデレーター：神谷和孝(北里大・医療衛生) 柴 琢也(六本木 柴眼科) 永田万由美(獨協医大)	150
ランチョンセミナー1	ランチョンセミナー1 共催：日本アルコン株式会社 新時代～ついに登場！Clareon®Vivity®AutonoMe®～ 座長：佐々木洋(金沢医大) 柴 琢也(六本木 柴眼科) 市川一夫(中京眼科)	106	イブニングセミナー1	イブニングセミナー1 共催：エイエムオー・ジャパン株式会社 テクニステクノロジー ～基礎から最新情報まで～ 座長：佐々木洋(金沢医大) 柴 琢也(六本木 柴眼科) 小島隆司(名古屋アイクリニック) 高田真智子(高田眼科)	42
	LS1-1 光学設計から見るVivityとPanOptixの違い LS1-2 Vivity 既報臨床データと早期使用経験			ES1-1 TECNIS OptiBlueとは？ ES1-2 Eyhance ～私の使い方～ ES1-3 私がTECNIS Synergyを選んだ理由	

テクニス テクノロジー

～基礎から最新情報まで～

座長

金沢医科大学



佐々木 洋 先生

2023年

6月22日(木)

17:30~18:30

会場：第3会場

札幌コンベンションセンター
1階「中ホールA・B」共催：第38回JSCRS学術総会
エイエムオー・ジャパン株式会社

1987年 金沢大学卒業
1987年 自治医科大学眼科学教室入局
1991年 米国オークランド大学眼研究所研究員
1993年 自治医科大学眼科学教室助手
1996年 金沢医科大学眼科学講座講師
2005年 金沢医科大学眼科学講座教授
2007年 中国医科大学客員教授
2009年 東北文化学園大学視覚機能学専攻客員教授
2018年 特定非営利活動法人
紫外線から眼を守るEyes Arc理事長



柴 琢也 先生

六本木 柴眼科



小島 隆司 先生

名古屋 アイクリニク



高田 眞智子 先生

高田眼科

非球面眼内レンズの先駆けであるテクニスシリーズに「OptiBlue」が加わり 10 年が経過し、国内導入される J&J 社製の眼内レンズのベースプラットフォームとなっている。ユニークな分光透過率をもつ薄い着色レンズである「OptiBlue」は素材安定性及び眼内安定性で高い評価を得ている。最近ではなだらかな焦点深度をもつ高次非球面単焦点眼内レンズ「Eyhance」や遠方から手元まで連続的にピントが合う多焦点眼内レンズ「Synergy」など複雑な光学部を支えるベース技術となっている。

当セミナーでは、この「OptiBlue」を中心にテクニステクノロジーを振り返るとともに、J&J 社最新の眼内レンズ「Eyhance」と「Synergy」の特長や臨床報告などについて 3 名のスペシャリストにご講演いただく。様々な眼内レンズが選択できる今だからこそベースとなる技術と最新テクノロジーについて整理し、最適な眼内レンズ選択について考えていきたい。

TECNIS®
OptiBlue® IOLs
10th
Anniversary

TECNIS OptiBlueとは、

TECNIS Eyhance
私の使い方私がTECNIS Synergyを選んだ理由
（術者として、患者として）

第38回JSCRS 学術総会 ランチョンセミナー 1

日時：2023年6月23日（金）12：40～13：40

会場：第1会場（札幌コンベンションセンター 1階「大ホールA」）



新時代

～ついに登場！ Clareon® Vivity® AutonoMe®～

座長

金沢医科大学
佐々木 洋 先生



演者

六本木柴眼科
柴 琢也 先生



光学設計から見る
Vivity と PanOptix の違い

演者

中京眼科
市川 一夫 先生



Vivity 既報臨床データと
早期使用経験

座長抄録

ついに、Clareon®Vivity®AutonoMe®が本邦で新発売されることになりました。IOLでは初めて、“波面制御”と呼ばれる光学テクノロジーが採用され、海外治験データから連続的に拡張された明視域とともに、良好なコントラスト感度、従来の多焦点IOLに比べ不快光視現象の大幅な軽減が示されています。今まさに、我々はIOLの新時代を迎えているのではないのでしょうか。

本セミナーでは屈折矯正白内障手術のエキスパートである、柴琢也先生、市川一夫先生のお二人をお招きし、Vivityの光学特性と、既報臨床データと実臨床での使用経験について、余すところなくご紹介いただきます。また、セミナーの後半では、Vivityに適した患者像、Vivityの使用方法、VivityとPanOptixの使い分け、そして今後のVivityへの期待などについて総合ディスカッションを行い、ご参加される先生方、パラメディカルの方のVivity使用に向けての理解を深めていきたいと思ひます。本セミナーを通じて、Clareon®Vivity®AutonoMe®を理解し、その可能性を感じていただくとともに、IOLの新時代を体感していただければと思ひます。

本会ランチョンセミナーは
整理券制となります。

配布日時 6月23日（金）7：30～11：00
（※無くなり次第、終了）

配布場所 札幌コンベンションセンター
1階エントランス

- 1) 整理券の発行にはネームカードが必要です。おひとり様一枚限り、開催当日分のみの発行となります。
- 2) 整理券の配布は先着順のため、なくなり次第終了させていただきます。
- 3) 配布時間終了後、整理券が残っている場合は、各セミナー会場前で配布します。
- 4) 整理券はセミナー開始と同時に無効となります。
- 5) 各セミナー会場には、整理券をお持ちの方から、優先的にご入場いただきます。
- 6) 整理券をお持ちでない場合でも、各セミナーの参加状況により、ご入場いただける場合があります。

共催：第38回JSCRS 学術総会／日本アルコン株式会社

Alcon

SMS408-1

2302TNK

JP-VIV-2300001